

鳥取県発大河ドラマ

# 歴史大河

第 1 号

編集発行

鳥取県を舞台に！歴史大河  
ドラマを推進する会

事務局

鳥取市佐治町加茂七三九  
田中精夫宅

## 鳥取県発歴史大河ドラマ 2017・3・5設立の経過

昨年の十一月初旬、田中精夫と内田克彦が県立図書館で出会い、鳥取県を舞台にしての大河ドラマが出来ないだろうかと話した。

そこで、小山富男さんを交えて、打合せをしました。その中で、テーマ・人物を全県に広く求めて全県あげての取り組みにしよう、その動きの中で、鳥取県の先人を発掘していこう、そして県民の皆さんに知っていただこう、良いものがあればドラマ(大河ドラマ)だけでなく、朝ドラや民放テレビも含めて」という形で取り上げていただき全国に発信していこう、と決めた。



その後、準備会を二回、昨年十一月十一日と今年一月二十九日に開催して、テーマ・人物を募集したところ、5つの発表テーマが出てまいり、

そして、三月五日に推進母体となる本会の設立に至った。また、田中・内田両名の共同代表と決まった。

当日は、今年度の候補となる五つのテーマを発表していた。さらに、先行して大河ドラマ実現に向けて活動されている、鳥根県安来市広瀬町から、「山中鹿介の大河ドラマ放映を実現する会」井上幸治会長をお招きし、「NHK大河ドラマ誘致をめざして」と題して、「講演を賜った。

(内田克彦)

### 採択の条件とは？

ドラマに採択される条件はどのような点であろうか。ネットの中から検索すると、北村純著の『大河ドラマの誘致』(群馬大学社会学部研究論集)がヒットした。NHK広報部の話として、「採否を分けるのは1年間の放送に堪えるエピソードがあるか、その人生に現代と共通するテーマがあるか、の2点」とし、「地元の声も参考意見にさせてもらおう」とあった。

なお、大河ドラマの制作方針の変化があったとして、「2000年代に入り、NHKは大河ドラマのあり方に関して、1990年代半ばからの視聴率低落傾向に歯止めをかけるべく、魅力ある人物像を新しい視点で描き、視聴者層を従来の大河ドラマを好む男性層だけでなく「女性と若者」にも広げることを目指すようになる。大河ドラマの主人公についても、いわゆる歴史上の勝者や歴史の表舞台で脚光を浴びてきた人物だけでなく、従来脇役とされてきた地方の有力な人物やその人物を支えていた女性たちなども有力候補としてあげられるようになってきた。」と記し、「これは地域からみると大河ドラマ歴史人物採択の規制緩和に喩えられる、としている。

また、由利公正を大河ドラマの主人公にと、取り組みを進めている福井県の資料によると、「主人公選定等における視点として、「大河ドラマの主人公には、少なくとも、①500回分のエピソード、②主人公が我々に訴えかけるメッセージ性、③全国的な知名度、④国内複数か所での活躍、の4つの条件を満たすことが必要。主人公は、功績のみではなく、その人物の喜怒哀楽、恋愛についても描くことが必要。視聴者は、波乱万丈の人生や人間らしさに興味を持つ。史実を追いかけるだけでなく、視聴者にどう感動を与えるかの観点に立ち、例えば、家族愛や友人との絆、ライバルといった主人公を取り巻く人間関係等も必要。著名人であっても新たな角度で描くことや、新たな視点で魅力を掘り起こすことが必

要。視聴率を高めるためには、視聴者目線、特に女性の支持が重要等」が挙げられている。

今年5月31日付けの朝日新聞は、私たちの会の活動などを取り上げるとともにNHKドラマ番組部のコメントとして、2020年以降の大河ドラマ制作について、「数年先を見ずして視聴者のニーズや時代の動きをくみ、1年にわたって興味を引きつけられる主人公は誰か、時代設定が偏らないかに配慮して総合的に判断する」と記載している。(内田克彦)

### 鳥取駅でPR!

私たちの活動を広く知らせてもらうために、広報活動をしています。8月9日と29日の二日間、鳥取駅でポストカード配りを実施。

足をとめ、熱心に聞いてくださる方もおられ関心の高さも感じることができました。

ちよっぴり、恥ずかしかったかな。

(小林、松村、内田、田中)



## 《選考会候補紹介》

### ☆流沙川のかなたへ 亀井琉球守姪姫

発表者 原田野吉

司馬遼太郎は、次のように言っている。「亀井姪姫は、戦国大名の中では異例という以上に奇跡の教養人といえそうである。鹿野は山間の小天地である。であればこそ宏大な世界を思った。鹿野城に二つの櫓を造り、一つを朝鮮櫓、一つをオランダ櫓と名付けた。姪姫には中国趣味よりも、インド趣味があり鹿野城を王舎城と呼んだ。玄奘三蔵の『大唐西域記』を読んだかもしれない。河口の海浜の盛り上がりつつある砂丘から、はるか西域の流砂を連想し、鹿野城下の東西の二筋の川に抜提川、流沙川と名付けた。抜提川は釈迦が入滅した川で姪姫に仏典の素養があったことを思わせる。またある。鹿野城下を鹿野苑と呼んだ。釈迦は、ベナレスまで行き鹿のつどう園で最初の説法をした。ここは多くの思想家の集まる場所であった。釈迦は自分の考えをまず思想家たちに説いたのである。亀井姪姫は、鹿野城下をそういう場所にしたかったのではあるまいか。」(改変)

大きな夢を描き、理想の国を興した姪姫は、今でも多くの人々に慕われ影響を与えています。亀井姪姫が大河ドラマ候補となれば、鹿野・鳥取だけでなく安来市・広瀬町・津和野町など亀井家も連携する一大プロジェクトとなる。

### ☆女性たちの池田家三代 鳥取姫路岡山をつなぐ姫君

発表者 田中精夫

池田氏は、戦国期に台頭し、信長に仕え、摂津10万石大阪城主となった。本能寺の変後は秀吉に仕え大功を挙げ、関ヶ原の戦いでは徳川方で奮戦し、姫路百万石の大領主に出世した。その子孫は、鳥取領主、岡山領主として治績を挙げ明治維新に及んでいる。池田家はどのようにして戦国・江戸時代に大躍進を遂げたのだろうか。池田家のうまさば、その調整力である。信長の後継者を決めた清須会議、関ヶ原合戦大阪城人質奮闘、大坂の陣前の秀頼家康対面式演出。これらの歴史的事件に池田家は交渉人として遺憾なく力を発揮した。表舞台では、殿様が活躍するが、その裏で巧みに情報を集め、交渉し成功に導いたのは、池田家一族の女傑、養徳院、天球院、良正院(督姫)、芳心院(茶々姫)らの姫たちである。さらに、平和な時代となった江戸時代初め、各大名家は、世継ぎ問題やお家騒動などで改易の危機にさらされた。その中で、存続できたのは、賢く生き抜く女性の知恵があったからにほかならない。信長、秀吉、家康、家光の時代に巧みな交渉力で活路を切り開く池田家一族の姿を、活劇と艶やかな安土桃山文化の衣装で楽しんでいただく。

### ☆赤とんぼの母 碧川かたの生涯

発表者 四井幸子

童謡『赤とんぼ』を作詞した三木露風の母、碧川かた(1872-1962)は鳥取藩家老の娘であり、後に再婚した夫、碧川企救男は、少年時代を米子市で過ごし、鳥取中学を卒業した新聞記者である。

かたは、龍野の三木家に嫁いだが、事情があつて、弟を連れて鳥取に帰る。置いていかれた操(後の露風)は寂しく、毎日母の帰りを待って過ごした。露風が山野であそんだ記憶からできたのが童謡『赤とんぼ』である。

母親も又つらかったが、なんとか自立して生きていかねばならないとの思いで、東京帝大附属病院の看護婦として自立し、廃娼運動、足尾鉾毒の救済に参加した。女性の弱い立場から男女等しく選挙権を得るべく、「婦人参政同盟」「女権社」を立ち上げ、雨の日も風の日も国会に請願した。

露風は「赤とんぼの歌には、別れたお母さんを慕う気持ちが秘められている。」と打ち明け、以来、かたは、「赤とんぼの母」と親しまれている。

### ☆三愛のクニへ 澤田節蔵廉三と美喜

発表者 片山長生

1953年2月、公職追放が解けた澤田廉三が参議院議員に立候補しようとする準備を進めていたところ首相、吉田茂から突然の呼び出しを受けた。「国連加盟・全権大使を受けてくれ」の要望である。廉三の「私の国連での使命」と題した講演の一節である。私は心底私を心配してくれる親しい友人たちから任命を拒否するようアドバイスを受けた。彼らの意見は、国際連合は国際連盟と同じ運命をたどるといふ「愚者の夢」であるといえます。私はたとえ世界平和が「愚者の夢」だとしても、私の全身全霊を捧げるに値する価値があると確信する。国際連盟は26年間で消滅したが、この間、国際連盟は幾つもの戦争勃発の発端の危機を回避し、平和手段を通じて複雑化した多国間紛争を解決する役目を果たしてきたのだと。国際連合は戦争の防止や世界平和の建設や維持に対してより力強く、重要で効果的な組織となり得る潜在能力を持っている。『三愛』を語る澤田廉三の生涯を追ってみるとき、「ロマンティズム」の精神がどっしりと中心軸を貫いている。



### ☆日本一の大商人淀屋 倉吉からの再出発

発表者 田村幹夫

江戸時代初期、大阪一の大商人であった淀屋の初代常安は家康とほぼ同じ時代を生きた人である。常安は淀川沿いの材木商から身を起し、ついには日本一の大商人となった。しかしながら淀屋は、あまりにも財を持ちすぎたために幕府や大名家からいられ、五代目の時に財産没収の処分を受け大阪から追放された。

四代目の番頭であった牧田甚右衛門は倉吉で淀屋を引き継いだ。倉吉淀屋は、鳥取池田家との強いつながりを築き、米や綿を中心とした農産物のほか、稲こき千刃など優れた製品を扱い発展した。その財力は確たるもので池田家や老荒尾家の金銭支援をしてきた証拠の文書も残されている。

倉吉淀屋は、大阪での復活を目指して大阪に進出し、再び淀屋を名乗り、中堅商社のような役割を果たした。しかし、大阪の淀屋は幕末になって忽然と姿を消した。その理由として、前期淀屋の恨みを晴らすため、天皇政治再興を目指す討幕運動に全財産を貢いだという説がある。明治天皇の曾祖母が倉吉出身「大江磐代君」であり堀尾吉晴家の一族である。そして、倉吉淀屋の牧田家の縁者にあたるため、その話もまんざらではないように思う。

## ◆歴史大河ドラマ 会への期待

### ドラマの地方創生合戦

勝原 公一

NHKの大河ドラマや朝ドラが、鳥取県を舞台に繰り広げられる日が待ち遠しい。信長や秀吉や家康はいない、龍馬も内蔵助もないじゃないか。とても無理、無理。そんな声が聞こえてくる。果たしてそつたろうか。

いま大河ドラマの誘致に名乗りを上げ

ているのは全国に30カ所余りあるらしい。お隣の鳥根県は、あの「七難八苦」の山中鹿介、初代松江藩主の堀尾吉晴。お隣の島根県は、あの「七難八苦」の山中鹿介、初代松江藩主の堀尾吉晴。軍師官兵衛が当たりした兵庫県は、「次は千姫で」と動き出した。これまで昔なしの構えだった鳥取県、郷土史家や大河・朝ドラファンなどが集まり、「鳥取県を舞台に！歴史大河ドラマを推進する会」をつくった。郷土の良さを発掘し、学ぶのが狙い。ドラマで観光客が増えるのだ、地域経済への波及効果はウン百億円、などというのはいのち、三の次、泉民が、さるさるで自慢がでるようになれば、それでよし。志は高い。

では、その主役はだれか。推進する会に寄せられた候補は、①朱印船貿易などで地方創生に励んだ鹿野の亀井琉球守茲矩②鳥取・姫路・岡山の3市をつなぐ池田家三代物語 ③婦人参政権運動などに立ちあがった赤とんぼの母・碧川かたの生涯④母子愛・祖国愛・人類愛に燃えた外交官兄弟、澤田節蔵・廉三と美喜 ⑤天下一の商人・淀屋の倉吉からの再出発。それぞれ時代は違っても、日本に大きな足跡を残した人たちである。

これらを自薦、他薦する人たちは、一年間のドラマが展開できるよう、史実に基づいた物語構成や物証探しに励んでいる。秋には大河、朝ドラそれぞれの鳥取県推薦候補を最終選考し、NHKや民放キー局に売り込みたいという。この「県予選」に勝ち残ったところも、そつたないところも、これを機会に記念碑やノボリ旗などをつくって、県民が語り継ぎ、顕彰できるようにするという。せつかくだから、出版までいきたいところだ。

今回の「始発バス」に乗り遅れたところもある。日清・日露戦争など日本の近代化を支えた奥白野のたたら製鉄を忘れてはいけない。その鉄づくりは日本の独自技術で、お隣・奥出雲のたたら製鉄は日本遺産に認定された。奥白野・奥出雲を隔てるのは、古事記・ヤマタノオロチの舞台になった船通山。一帯では少なくとも1400年以上も鉄づくりが続けられてきた。その栄枯盛衰は日本民族の歴史でもある。山陰、鳥取県はやはり日本神話の舞台でもある。次回はたたら製鉄

大伴家持、明治維新の魁となった鳥取藩なども顕彰しよう。

さて、別表のように日本各地にはライブルが多い。見方を変えれば、ドラマに姿を変えた「地方創生合戦」である。こうなると、テレビ局の責任は重い。とりわけNHKはそつた。鳥取局はがんばれるか。いや、がんばっていたかなければならぬ。

## 思い出の歴史大河

私と鳥取と大河ドラマ、朝ドラと

その一

内田克彦

大河ドラマにはまったのは、一九六五（昭和四〇）、私が小学校五年生のとき「太閤記」だ。

秀吉が緒方拳、信長が高橋幸治。当時の年齢はなんとそれぞれ二八歳と三〇歳。「信長を殺さないで」との助命嘆願が殺到し、それを受けて「本能寺の変」の放送が一月十七日とかなりずれた。お陰で、それ以降最終回までの印象は残っていない。出演者を調べると、山中鹿之助役で神（三ツ）山やま繁、吉川経家役で御木本伸介とあったが、記憶に残っていない。人が沸騰したのだから、緒方は翌年の大河ドラマ「源義経」の弁慶役に、高橋は翌年四月からの朝ドラ『おはなはん』の主人公の夫役で出演している。

鳥取城攻めが出てきたのは、一九七八（昭和五三）年の『黄金の日々』だ。主人公の呂宋（るそん）助左衛門役は松本幸四郎。当時は市川染五郎である。また、信長秀吉は『大閤記』と同じ配役で、その面でも注目して見た大河ドラマであった。因みに、松本は、昨年の『真田丸』にも、脚本家の三谷幸（こう）喜きの依頼で、同じ呂宋助左衛門役で出演している。

鳥取城攻めは、第二四話「鳥取兵糧戦」と第二五話「飢餓地獄」と二回にわたって克明に描かれた。

主人公がどういうわけか、鳥取城の中に入ってしまった、攻める方だけではなく攻められる方も詳しく描かれた。吉川経家役に扮しているのは浜畑賢吉。現在NHKアーカイブスに収められ、いつでもネットから見られる環境にあるが、初見の印象を大切にしたいので、再見はまだである。

## 思い出の朝ドラ

朝ドラともい

士井倫子

現在放映中のNHKの朝ドラ「ひよこ」は、96作目。昭和36年の「娘と私」に始まり、56年間、女性を主人公としたドラマを放送し続けている。夜の大河ドラマは男性が主人公であることが多いが、朝のドラマは、女性が主役で根強い人気がある。

TVが普及し、私の記憶にあるのは4作

目の「うず潮」からだ。ほぼ同じ時代を生きてきたと感じている。8時頃は通学・通学の時間帯で、若い世代はなかなか視聴できないが、主婦にとっては一息つく頃私も仕事を辞めてからは日課として毎朝観ている。

近年は、どれも楽しく想い出深い作品が多かったが、特に実在の人物に関するものが興味深い。苦しい戦中戦後の時代を男に頼らず、知恵と勇気で自ら道を切り拓き、逞しく生き抜いていく女性達の姿に共感する。そして、時代を支えてきた『女の力』に感動し、一人一人にドラマがあることを感じる。

「べっぴんさん」と姉ちゃん「あさが来た」「マッサン」「花子とアン」「カーネーション」「ゲゲゲの女房」など。主人公のことや時代背景・舞台となった地域のことなどを本で調べたりもする。毎朝流れるテーマ曲も楽しみの一つである。

これ以前は、ポーンと飛んで、平成4年の「ひろり」女は度胸が印象深く、昭和58年の「おしん」は世界的な大ヒットとなった後にTBSの再放送で観た。そして第6作の「おはなはん」、長閑な曲とともに何故かよく観ていた記憶がある。

過去の作品名を見ながら思う。私はこの時代何をしていたかしら、主役の女優さんは今どうしているかしら。虹は鳥取が舞台となっていたはず。地方が少子高齢化で次第に寂しくなっていく。朝の朝ドラの地方活性化への効果は大きいに違いない。鳥取にも朝ドラの主人公となりうる人があれば、是非ともドラマ化していただきたい。

PR活動の一環として、とりぎん文化会館でロビー展を行った。7月30日から8月3日までの期間である。屋外は焼けるような暑さ、屋内もガラスを通過する日差しが強さに、見学者も少ない。



## ロビー展開催

しかし、鳥取市役所鹿野支所の協力を得た亀井絃矩の展示は抜群であった。碧川かた、池田家、淀屋関係資料の展示により、鳥取発歴史大河ドラマの動きを身近に感じてもらったに違いない。

## 歴史大河会に申す

鳥取の新たな県民性への挑戦

小山富貴男

「鳥取県を舞台に……」に、五つのグループが参加し地域のゆかりのある人物について図書館などで調べたり、県外で取材して新たな事実を掘り起こしたりして、人物像を見直してこられた。また、原作者・脚本家・プロデューサーと交渉の立場に立ち、研究会を重ねる姿に敬服した。

誰かがやってくれるだろうという、他力本願、どうせだめだろうという、諦め思想から脱却し、新たな鳥取の風土醸成に繋がる活動のように思えてならない。これは、九月十二日の『とりぎん』の「鳥取の精神」につながる県民レベルの取り組みだと思っ。

今後も、この鳥取方式ともいっべき、県民参加の「鳥取県を舞台に……」を推進してほしいと思っ。

## 編集後記

とりあえず第一号が発刊できた。鳥取県民一人一人に鳥取発歴史大河ドラマに関心を持ってもらうことを願っている。

（田中精夫）



## 主な大河ドラマ誘致活動一覧

(勝原公一氏作成)

歴史上の人物など	活動組織	事務局所在地	備考
天地人	NHK 大河ドラマに直江兼続公を取り上げてもらう会	新潟県六日町・上越市 山形県米沢市 福島県会津若松市	2009年放映
利家とまつ	NHK 大河ドラマ誘致推進委員会	石川県	2002年放映
藤堂高虎	NHK 大河ドラマを誘致する会	三重県津市	
三好長慶	三好長慶大河ドラマ実現会	徳島県徳島市	
保科正之	名君保科公大河ドラマをつくる会	長野県伊那市	
雑賀孫市	孫市の会	和歌山県和歌山市	
軍師官兵衛	NHK 大河黒田官兵衛誘致会	兵庫県姫路市など	2014年放映
塚原ト伝	塚原ト伝研究委員会	茨城県鹿嶋市	
長曾我部一族	長曾我部再興委員会	千葉県柏市	
明智光秀ほか	明智光秀公顕彰会事務局 NHK 大河ドラマ誘致推進協議会	滋賀県大津市 京都府長岡京市	
山中鹿介	大河ドラマ放映実現をめざす会	島根県安来市	
本田忠勝・忠朝	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会	千葉県大多喜町	
義仲と巴	津幡町大河ドラマ推進協議会 広域連携推進協議会	石川県津幡町 富山県小矢部市	
真田丸	NHK 大河ドラマ日本一の兵真田幸村公放送実現を願う会	長野県上田市	2016年放映
加藤清正	加藤清正公没後400年記念事業実行委員会	熊本県熊本市 愛知県名古屋市	
戦国大名里見氏	里見氏大河ドラマ実行委員会	千葉県館山市	
朝倉五代	朝倉氏遺跡保存会	福井県福井市	
大友宗麟	大友氏顕彰会 NHK 大河誘致会	大分県大分市	
徳川宗春	宗春ロマン隊 NHK 大河誘致会	愛知県名古屋市	
伊能忠敬	伊能忠敬大河ドラマ化推進協議会	千葉県館山市	
北条五代	北条五代観光推進協議会	神奈川県小田原市	
二宮敬作	ケイサキーの会	愛媛県西予市	
山田方谷	方谷さんを広める会	岡山県高梁市	
ジョン万次郎	NHK 大河実現高知県実行委員会	高知県土佐清水市	
島津義弘	島津義弘公大河ドラマ化推進委員会	鹿児島県始良市	
西郷どん	鹿児島県観光誘致促進協議会	鹿児島県鹿児島市	2018年放映予定
水戸光圀	光圀公大河ドラマ推進協議会	茨城県水戸市	
三浦按針	ANJIN プロジェクト	神奈川県横須賀市ほか	
比企一族	比企一族歴史研究会	埼玉県東松山市	
太田道灌	太田道灌大河ドラマ推進準備会	神奈川県伊勢原市	
村橋久成	北で燃えたサムライ誘致会	北海道札幌市	
由利公正	福井県大河ドラマ誘致推進協議会	福井県	
立花闇千代	柳川フィルムコミッションの会	福岡県柳川市	
堀尾吉晴	堀尾吉晴共同研究会	島根県松江市・安来市 愛知県大口町	

太字は放映時のタイトル(放映予定含む)

データは北村純氏の論文「大河ドラマの誘致」、「鳥取を舞台に！歴史大河ドラマを推進する会」等による。